

2026年3月第一回定例会・新年度予算案賛成討論

佐藤 雅 博

自由民主党多賀城市議団を代表して議案第22号令和8年多賀城市一般会計予算から議案第27号多賀城市下水道事業会計に対する各会計予算案に賛成の立場から討論を行います。

今議会冒頭、市長の施政方針演説において、市政運営の方向性、施策の概要が示されました。その中身は取り組み姿勢や将来都市像を実現するための体制強化、推進、市民へのお願いなどでした。

すべての事業は第六次多賀城市総合計画に掲げた政策の完遂と日本一暮らしやすいまち実現に向けての予算編成であると理解しました。

また、昨今の厳しい物価高騰、多様なニーズが求められている現状においては、市民、議会、行政、県も国も皆が力を合わせこの難局を乗り越えて行かなければならないと考えさせられました。

このような中でも、本市においては令和8年度の市政運営の方針に、はっきりと示された将来都市像の更なる実現のため限りある行財政資源を最大限に活用・発揮させ目下の行政課題の解決に向け鋭意取り組む意思が示され心強く感じたところです。

第六次多賀城市総合計画前期基本計画の最後に、本市のシンボルとも言える多賀城南門の復元、多賀城碑の国宝指定、ガイダンス施設のオープン、宮城オルレ多賀城コースの開設と、よろこびと感動、期待に包まれました。また、まもなくオープンするスケートボードパークが加わると、特別史跡周辺一帯は賑わい、かつ多賀城市全体に波及していくものと思っています。

更に、政庁復元構想が宮城県主導の取り組みとしてスタートしています。文化財は既に活用へと舵を切っていますが、これから本格化する整備、活用は国内外から注目される大きな事業であると考えています。多賀城ならではの地域資源を開花させるべく、多賀城市、宮城県が策定している諸計画に基づく地域全体の活性化を推進して頂きたいと思います。

令和 8 年度から文化財課を市長部局へ移管し市民文化創造課を新たに文化観光課に名称を変更し市全体で関わって行くことは、史跡輝くまちづくりを標榜する私は後世に継承して行く体制強化を行って頂きとても期待しています。これまで、特別史跡内で暮らす住民は共存共栄と言う表現で過ごして来ました。これからは一歩も、二歩も前進した特別史跡を活かした地域全体の活性化を地域が一体となり推

進んで行くべきと考えています。その一躍を担う特別史跡周辺まちづくり協議会が先日設立されました。この協議会は地域課題を解決しながら周辺の活性化も考え市や県へ提案、要望、二人三脚で実行して行こうという住民団体です。協議会会長からは、つなぐ・つなげる・共に生きるをテーマに次の100年に向けつないでいきたいと挨拶がありました。これまで以上、活性化のための相互協力を果たして行かなければならないと考えておりますのでどうぞよろしくお願い致します。

長く続く物価高騰への対策ですが、その対応に高市首相が言及していることは承知しています。本市におきましても、国の動向に注視して頂くと共に市内の状況を的確に捉えて頂き市民生活がより豊かになるよう対策を講じて頂きますようお願い申し上げます。物価高騰の影響を受けている学校給食の負担軽減、市内保育所等の食料費や光熱費の支援を頂いているところですが、全市民への支援が必要な状況がまだまだ続いていると思います。的確な取り組みを引き続きお願い申し上げます。

令和8年度は本市の防災本部機能拠点である西庁舎の大規模改修と多発する浸水災害対策として原谷地川の樋門改修に係る設計やハザードマップの浸水地域内の建物を対象に止水板設置や室外機嵩上げに対する補助制度のソフト面による対策も実施されます。大雨による事前災害への取り組みが実施されることは想定を越える突発的な災害に有効な手段です。対象者には寄り添う対応をお願い致します。

健全かつ持続可能な行政経営と縮充の推進について言及されています。人口減少・少子高齢化社会、社会経済が縮小したとしても市民の暮らしを守る大きな方針が本市にはあります。高市首相に負けず劣らず責任ある積極財政と挑戦し続ける姿勢は未来を切り開き明るくする手段であり深谷市政に期待を寄せています。我々市議団としてもその先に見えてくる新しい風景を楽しみに、まちづくりに参画・協力し多賀城市を盛り上げて行きたいと思えます。

令和8年度において重点的に取り組む事業の概要説明がありました。これは、第六次多賀城市総合計画後期計画の将来都市像の実現を目指した取り組みを着実に進めて行くためであり、限りある行政経営

資源をより効果的に活用する視点からの予算配分であり、寄与すると認められる重点事業 45 事業は適正な予算案だと思います。重点事業のみならず、その他事業も将来都市像の実現に向け必要な事業ですので丁寧に取り組んで頂きますようお願いいたします。

令和 8 年度当初予算案一般会計予算は前年対比で 5600 万円の増額となっております。その要因は学校 ICT 整備事業に係るタブレット端末の更新、教職員、児童生徒の ICT 活用能力向上のため ICT 支援員と地域おこし協力隊の配置が挙げられます。地域おこし協力隊の教育 DX やネクストギガへの対応は次のステージへ教育の未来を切り開くためであり教育委員会が考えるこの取り組みは新時代に見合う必要事業費です。しかしながら一方では、人事院勧告に伴う給与改定に要する経費、社会保障費の増加、物価高騰の影響、スポーツウェルネス施設整備事業等の建設事業費を考えると本市の経営は決して楽観視出来る状況ではありません。歳入の確保においては、市税やふるさと納税はもちろん国や県からの地方財政支援メニューの活用にも積極果敢に取り組んでもらいたい。当局の創意工夫とチャレンジ精神に期待しています。

そして今の時代に合わせた DX の推進による生産性の向上、業務の効率化、コストカットにつなげ新たな政策のために活用して頂きたい。本市の財政状況は憂慮すべき状況にありますが、社会情勢や地域の実情にあった形での事務事業の選択と集中は真に必要なことでもあります。持続的な行財政経営をするため更なる収支の改善を図って頂き、事務事業の実施にあっては手段の再考、民間活力の活用など効率化を図って頂きたい。財源の確保を義務付けるペイアズユーゴーの原則は収支のバランスを図りながら限りある資源を合理的に活用して行くことが出来る有効な手段として考えられます。その時々状況を捉え柔軟かつ機動的な市政運営をお願い致します。

次に、国民健康保険特別会計、後期高齢者医療特別会計、介護保険特別会計の歳入、歳出はきめ細かく推計されておりの確な予算計上であると考えます。高齢化が加速する中で、国民健康保険加入者は減少傾向にあり国民健康保険特別会計は 8900 万の減、後期高齢者医療者や介護保険対象者は年々増加傾向にあり後期高齢者医療特別会計は 9500 万の増、介護保険特別会計では約 3 億の増になっています。

特に高齢者のお口からはじめる健康づくりの推進と健康寿命を伸ば

す地域ぐるみの予防医療の支援、病気になりにくい体を作る支援、外出を支援する事業、地域包括ケアシステムの尚一層の充実が求められており期待しています。

次に、水道事業会計は第2条に定める業務の予定量、第3条に定める収益的収支、第4条に定める資本的収支について適正な予算が計上されていると考えます。配水管整備事業費の減少に伴い約1億1千万の減ですが、予定損益計算書では、約9800万円の純利益を見込んでおり健全経営と考えます。災害発生時や日常生活における水の供給はとても重要です。市民と共にある安全で安心な水道事業の推進をお願い致します。

次に、下水道事業会計について、第2条に定める業務の予定量、第3条に定める収益的収支、第4条に定める資本的収支は適正に予算が計上されていると考えます。雨水施設ストックマネジメント事業の減少に伴い約6億4千万の減ですが、予定損益計算書では、約2億7400万円の純利益が計上されていることは評価いたします。しかし、汚水処理原価が使用料単価を上回る状況が続いており、必ずしも健全な

経営とは言えません。昨今の物価高騰や人口減少社会を考慮した水道事業、下水道事業の健全化に向け経営戦略の見直し時期に来ていると考えます。

これまでの市長の的確な市政運営と強いリーダーシップは多賀城市職員全体に浸透していると思います。令和 8 年度予算編成にあっては、不易流行、市民に快適な生活を過ごしてもらうための丁寧な予算の積み上げグッドバランスと考え賛成討論と致します。